

# 知のネットワークへの挑戦

～リニアを見据えた21世紀型戦略的地域づくり～  
～飯田の大学連携の取組を通じて～

飯田市長 年頭所感から

## これまでの大学連携

### 南信州・飯田フィールドスタディ

「フィールドスタディ」とは、学生が大学を飛び出し、観光や農業、教育やまちづくりなど様々な分野において、現地の社会環境や自然環境を肌で感じながら、実体験や人々との交流を通して自らの問題意識を高める学習のことで、今年で4年目を迎えます。



フィールドスタディにおける複数大学の共同講義

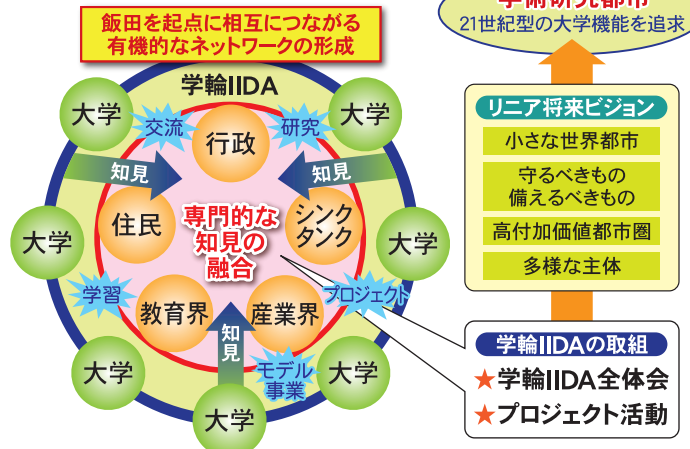
### 飯田と関係の深い教授などの所属大学等 (順不同・平成24年1月現在)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| ○和歌山大学       | ○豊橋技術科学大学   |
| ○立命館アジア太平洋大学 | ○愛知大学       |
| ○明治大学        | ○筑波大学大学院    |
| ○立命館大学       | ○大阪市立大学     |
| ○東京農工大学大学院   | ○京都外国語大学    |
| ○法政大学        | ○上智大学       |
| ○法政大学大学院     | ○立教大学       |
| ○東京大学大学院     | ○飯田女子短期大学   |
| ○高崎経済大学      | ○信州大学       |
| ○名城大学        | ○信州大学大学院    |
| ○同志社大学       | ○諏訪東京理科大学   |
| ○首都大学東京      | ○長野工業高等専門学校 |
| ○名古屋大学大学院    | ○関西学院大学大学院  |
| ○関西大学        | ○一橋大学院      |
| ○日本福祉大学      |             |
| ○東京農業大学      |             |

文部科学省国立教育政策研究所

## 大学連携会議「学輪 IIDA」の設立

平成23年1月、飯田フィールドスタディ等を通じて関係を深めてきた大学・研究者等が、市と各大学との1対1の関係から、飯田を起点として相互につながる有機的ネットワークを形成するため、大学連携会議「学輪 IIDA」を設立しました。「学輪 IIDA」のコンセプトは、21世紀型の新しいアカデミーの機能や場づくりであり、研究者同士が相互に知り合い親交を深めつつ、モデル的な研究や取組を地域とともに進めていくというものです。現在23大学約70名の研究者等に参画いただいています。



大学等の専門的な知見と、飯田が培ってきた様々な取組との融合により、取組の高度化が期待できる。

## 大学との連携による取組事例

### ～名古屋大学(国際交通安全学会)との共同事業～ ラウンドアバウトの社会実験

市内吾妻町ロータリーをフィールドに、名古屋大学(国際交通安全学会)や地域住民と共同で、歩行者等の安全対策についての社会実験を実施。



### ～和歌山大学との共同プロジェクト～ 飯田市美術館のデジタルプラネタリウムの新たな試み

5～10分の作品として上映



飯田は高校卒業と同時に約8割の若者が地域を離れ、将来的にも約4割の方しか帰ってこない現状があり、若者(人材)の流出が大きな課題になっています。

一方で飯田は、日本の東西の中間点に位置する地理的条件や、「環境モデル都市」や「南信州定住自立圏」など地域独自の地域経営や多様な主体による各種取組が全国モデルの先進事例として注目されており、「南信州・飯田フィールドスタディ」などを通じて多くの大学研究者や学生達が飯田を訪れています。

また平成23年1月、南信州・飯田フィールドスタディなどを通じてこ

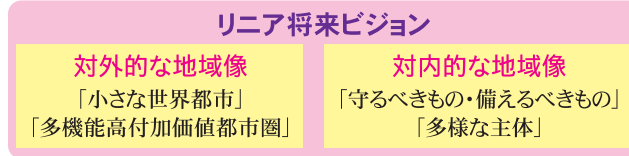
れまで飯田と関係を深めてきた大学研究者等で、大学連携会議「学輪(がくりん) IIDA」を設立しました。

飯田の大学連携の取組は、様々な大学が飯田と関係を持ち、飯田に集い、飯田を起点に専門的知見が融合する状態をつくり、これに地域(産業界・教育界・住民・行政等)が関わることで有機的な「知のネットワーク」を形成し、専門的な知見を地域に呼び込んでいくというものです。

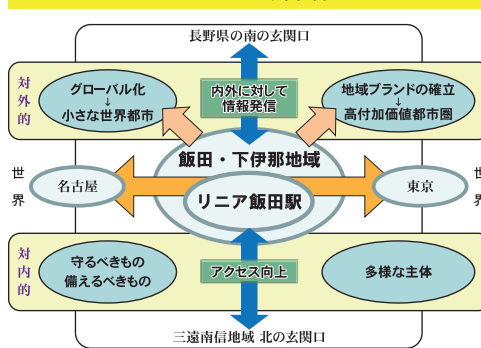
これからも飯田は、大学連携の取組などを通じて「飯田の豊かさを享受できる学術研究都市」を目指していきます。

## これまでの取組を活かした今後の方向性

### リニア中央新幹線飯田駅を見据えたまちづくり



### リニア中央新幹線飯田駅を見据えたまちづくりの方向性



大学連携の取組は、リニア将来ビジョンが目指すまちづくりや「飯田の豊かさを享受できる学術研究都市」の実現につながるものと考えています。

## 飯田の豊かさを享受できる学術研究都市

学輪 IIDA に代表される「知のネットワーク」による「21世紀型の戦略的地域づくり」を推進することで、「飯田の豊かさを享受できる学術研究都市」を実現を目指します。

### 「知のネットワーク」が 目指す3つの機能

- 【人材育成】
  - 地域の人材育成につなげる、又は人材誘致につなげる
- 【クラウド】
  - 地域に必要な専門的知見を必要な時に提供してもらえる人的ネットワーク
- 【産業ダイナミズムの創発】
  - このような取組を積み上げながら、将来的には地域の産業創出につなげたい

### リニア時代に向けた 「人材サイクル」の構築

### 「知のネットワーク」による21世紀型戦略的地域づくり

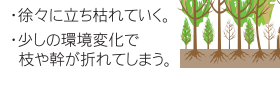
#### 20世紀型の考え方

別の場所で育てられた木を移植し、短期間で整然とした美しい街を形成することができるが、単なるハコモノ誘致(人材誘導・人材育成など手入れが不十分)だと...



・根を張るための土壌づくりが不十分な場合がある。  
・木が育つための栄養や水分を与えられない。

社会経済構造の急激な環境変化  
少子高齢化社会 経済のグローバル化Etc



根を深く張れない。徐々に立ち枯れていく。少しの環境変化で枝や幹が折れてしまう。

街が荒廃して持続できない。

#### 21世紀型の考え方

地域の自立と持続を目指すための「知」のネットワークによる水やり  
●地域の「耕しと種まき」により発芽させた小さな芽は、やがて地中深く根を張る大樹へと育つ。  
●専門的な知見を地域に呼び込むことにより、地域人材が育成されるとともに、自立的・自律的な付加価値の創発をめざす。



地育力・結いの力  
震災後 リニア開通前の今後の15年間

多機能高付加価値都市圏



飯田が培ってきた肥沃な土壌  
経済自立度の向上 ← 経済的な豊かさ + 精神的な豊かさ → 地域への愛着・誇り 学びの魅力

他所からハコモノを移植するのではなく、飯田が培ってきた土壌に専門的知見のネットワークによる養分を加えることで地域の自立と持続性を目指す

## 学輪 IIDA キックオフイベント 学輪 IIDA 全体会の開催

これまでの取組を通じて、飯田には外から人を引き寄せる「魅力」が多くあることが分かってきました。大学などの高度な専門的知見と地域の取組とが結びつくことで、更に魅力的な地域になることが期待されます。学輪 IIDA の取組はまだ始まったばかりですが、これからも地域の皆様と一緒に進めていくためのキックオフの機会として、大学連携会議「学輪 IIDA」第2回全体会を1月28日(土)に開催致します。

## 大学連携会議「学輪 IIDA」全体会

■日時  
平成24年1月28日(土)  
午後1時30分～午後5時30分  
(受付:午後1時00分から)

■会場:シルクホテル

### ■日程・内容

- 午後1時00分～ 受付
- 午後1時30分～ 開会・学輪 IIDA 経過報告
- 午後2時00分～ 参加先生方からのプレゼンテーション
- ※参加先生方から飯田に関する取組・飯田の評価等についてプレゼンテーションいただきます。
- 午後5時00分～ 学輪 IIDA プロジェクト会議の報告
- 午後5時30分 閉会

聴講を希望される方は、1月25日(木)までに飯田市役所企画課へ電話またはメールにてお申し込みください。

## 問い合わせ・申込先

飯田市役所  
企画部 企画課 企画調整係  
電話:0265-22-4511  
内線2224  
✉:ikikaku@city.iida.nagano.jp